

インフルエンザ流行注意報の発表について

島根県感染症発生動向調査による令和5年第43週(10月23日～10月29日分)の定点当たりの報告数が13.76人となり、流行注意報の基準値(10人)を超えましたので、本日(11月1日)「インフルエンザ流行注意報」を発表します。

- 今回の注意報の発表は過去10年で最も早いタイミングです。
- 松江圏域は30.18人で警報レベルです。また浜田圏域で患者が急増しています。
- 年代別では小児(14歳以下)を中心に増加しており、学校等の閉鎖措置も増加しています。
- インフルエンザウイルスのうち、A型の2種類[H3(香港型)、H1(pdm09型)]が主に検出されています。

今後、更なる流行の拡大が懸念されますので、地域の流行情報に注意するとともに、感染予防と拡大防止に努めて下さい。

【県民の皆様へ】 インフルエンザと新型コロナウイルスの基本的な対策は同じです。

- ◎ 基本的な感染対策を続けましょう
 - こまめな手洗い・手指消毒
 - 場面に応じたマスクの着用
 - ワクチン接種(インフルエンザワクチンと新型コロナワクチンは同日に接種可能です)
 - こまめな換気
 - 十分な休養・栄養・水分補給
- ◎ 高齢者や基礎疾患のある方などは、かかりつけ医等の医療機関に早めに相談しましょう。
- ◎ 発熱や風邪症状などの症状がある場合は、無理せず自宅で安静に過ごし、周囲にうつさない配慮(咳エチケット等)をお願いします。

【感染症発生動向調査 インフルエンザ報告数】

<保健所管内別の発生状況(第43週：10/23～10/29)>

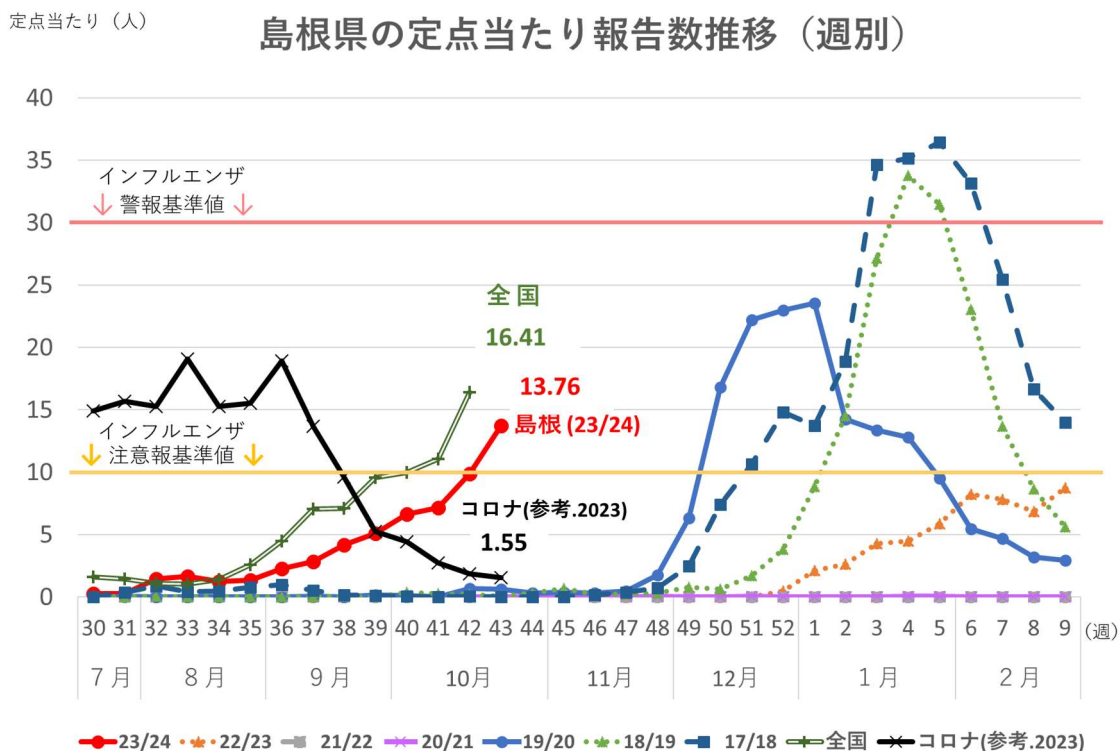
	松江	雲南	出雲	県央	浜田	益田	隠岐	全県
定点医療機関数	11	3	9	3	5	5	2	38
患者数	332	11	36	4	120	10	10	523
患者数/定点	30.18	3.67	4.00	1.33	24.00	2.00	5.00	13.76

(定点当たり報告数=1週間に定点医療機関を受診した患者数/定点医療機関数)

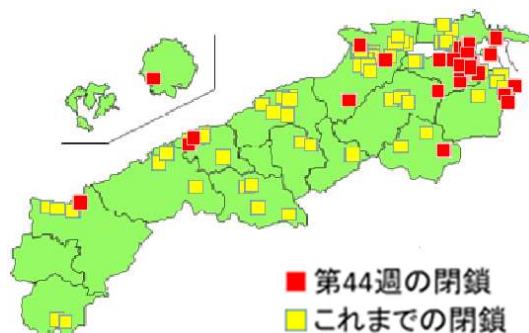
<年齢別の患者数>

年代	～6歳	7～9歳	10～14歳	15～19歳	20～39歳	40～59歳	60歳～	計
第41週(10/9～10/15)	52	66	85	18	20	20	11	272
第42週(10/16～10/22)	85	79	120	22	24	35	10	375
第43週(10/23～10/29)	154	103	159	21	44	28	14	523

<インフルエンザの流行状況>



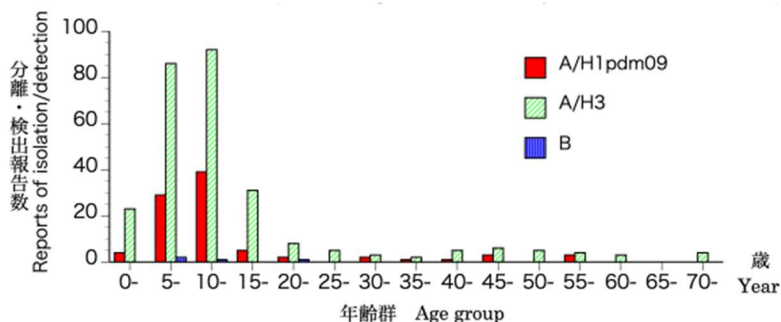
<県内の閉鎖措置学校の分布>



10月31日時点の第44週（10月30日～11月5日）
の閉鎖措置学校数
延べ34校（実30校）

<全国のインフルエンザウイルスの型別、年齢別分離・検出報告数2023/24シーズン>

（各都道府県市の地方衛生研究所・保健所からの分離/検出報告数：2023年10月26日現在）



（国立感染症研究所ホームページより抜粋）

【参考】

○県内流行情報の詳細は島根県感染症情報センターのホームページをご覧ください。

https://www1.pref.shimane.lg.jp/contents/kansen/inf/23_24/inf0004.htm

○全国のインフルエンザの発生状況については、こちらをご覧ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou01/houdou.html